

全道医家囲碁大会

名人戦は樋口晶文6段が優勝(通算14度目)!

本因坊戦は板倉一正5段が初優勝!

第37回全道医家囲碁大会を終えて

全道医家囲碁連盟

会長 三宅 直樹



全道医家囲碁連盟主催による第37回全道医家囲碁大会が、去る平成22年10月31日(日)、久々の快晴のもと、例年のごとく札幌市医師会館を会場に開催されました。

9時15分、南田英俊副会長の司会により始まり、まず、会長挨拶の後、上村収蔵地方棋士(6段)の紹介、そして若浜副会長から競技ルール説明があり対局に入りました。

今回は、出場者数の関係もあり本因坊戦のクラス分けは行わず、名人戦12名、本因坊戦9名による熱戦が繰り広げられました。

第25回大会(平成10年)から故藤田信一会長(当時)の提案により、前夜祭として女流アマ(北星 司会進行の南田連盟副会長)との交流会を毎年行っていましたが、ここ数年、参加者が著しく減少してきたため、残念ではあります。当分の間、開催を見送ることといたしました。

大会の参加者も年々減少傾向にあるため、大会当



司会進行の南田連盟副会長



挨拶する三宅連盟会長



挨拶する長瀬道医会長

日の昼に開催された全道医家囲碁連盟幹事会におきまして、いろいろ役員に知恵を絞ってもらった結果、次回から参加資格を「北海道医師会会員および道内に在住する医師」とすることとし、PR方法は事務局に一任としました。また、日本棋院の女性プロ棋士を呼んで対局をしてはとの意見も出されました。一考に値するかと考えております。

さて、大会の方に戻りますが、名人戦の申し込みが11名であったため、本因坊戦にお申し込みいただいた胆振西部医師会の坪俊輔先生(第36回大会本因坊戦Aクラス優勝者)に急遽名人戦の方に入ってもらいました。本来は16名がベストですが、12名ということですのでシード権者4名を過去3年間の成績で選定するところではありましたが、36回大会に初出場、初優勝されました札幌市医師会の樋口栄作先生につきましては、無条件でシードということにさせていただきました。

名人戦の決勝戦は、共に札幌市医師会の樋口晶文先生と樋口栄作先生でしたが、詳細につきましては優勝されました晶文先生の感想記をお読みいただきたいと思います。



大会対局風景



名人戦決勝対決

本因坊戦は、札幌市医師会の板倉一正先生が初優勝されました。

今回、想定外の成績で終わられた先生方は、次回頑張ってくださいと思いますが、今回好成績をあげられた先生方には満足することなく、ますますご研鑽していただきたいと思います。

対局終了後、引き続き北海道医師会 長瀬会長ご臨席のもと懇親会に移りました。

南田副会長の司会により和やかに懇親会が進められ、上村棋士による名人戦優勝対局の解説もあり、盛り上がった雰囲気の中で閉会となりました。

毎年この大会にご支援・ご協力をいただいております北海道医師会、札幌市医師会、メディコ北海道、

損保ジャパンに感謝申し上げます。



大会懇親会風景

全道医家囲碁名人戦優勝記

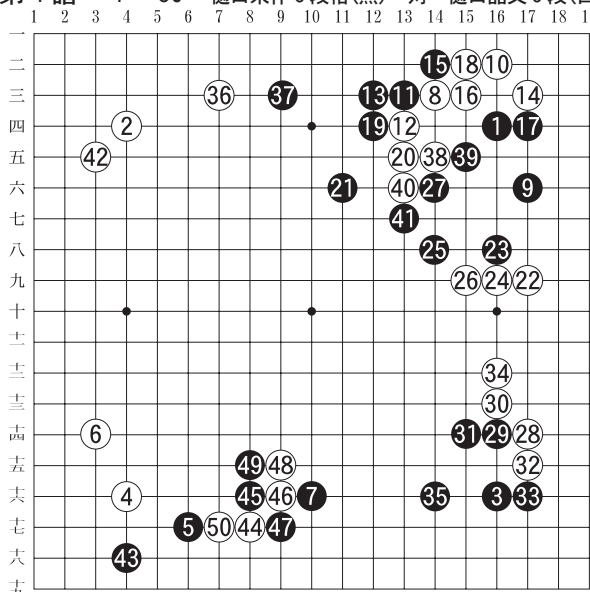
札幌市医師会
市立札幌病院

樋口 晶文



この度、14回目の名人獲得とても嬉しく思います。2年ぶりの勝利で昨年は5位に終わっており、負けた樋口栄作先生（私の従兄弟です）に決勝で勝つとても幸運でした。栄作先生は私より19歳若く、棋風はとてもしっかりして粘り強い碁です。今は開業後忙しい時期ですが、もう少し本腰を入れたら、きっと強い名人になると想像いたします。今回の決勝戦も、栄作先生の粘り強い戦いに苦戦に陥りましたが、辛うじて逃げ切りました。恒例の自戦記を書かせていただきます。

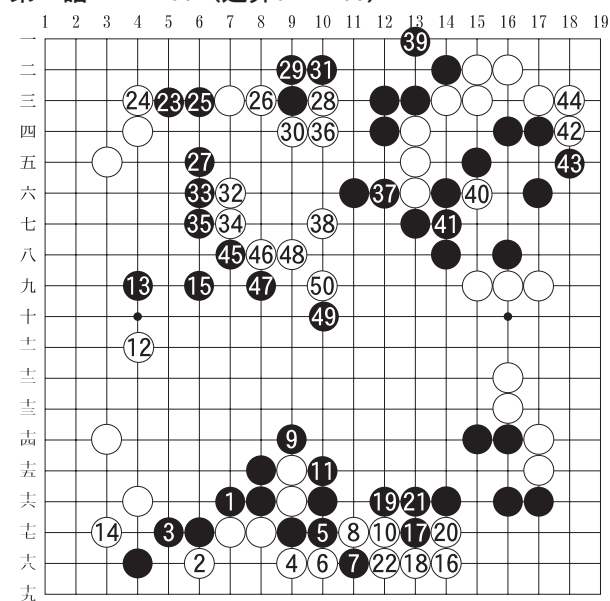
第1譜 1～50 樋口栄作6段格(黒) 対 樋口晶文6段(白)



栄作先生とは、彼が高校生の頃（旭川東高時代団体戦で全国優勝している）わずかに打っていますが、近年では昨年負け、1敗です。隠れた全道の強豪です。

共に二連星の立ち上がりです。11は最近はやりの厳しいツケです。白は定石を間違え、19に押され形が崩れました。思わぬ流れになりましたが、28にかけ、右辺が無事に分かれ、36にひらき、42と締まるとは、白順調と思っていました。43に対して44と打ち込んだのは、チャンスと思いましたが、46と気合で割り込んだが、無理手で黒に49と押され良いサバキがなく、苦戦を覚悟しました。

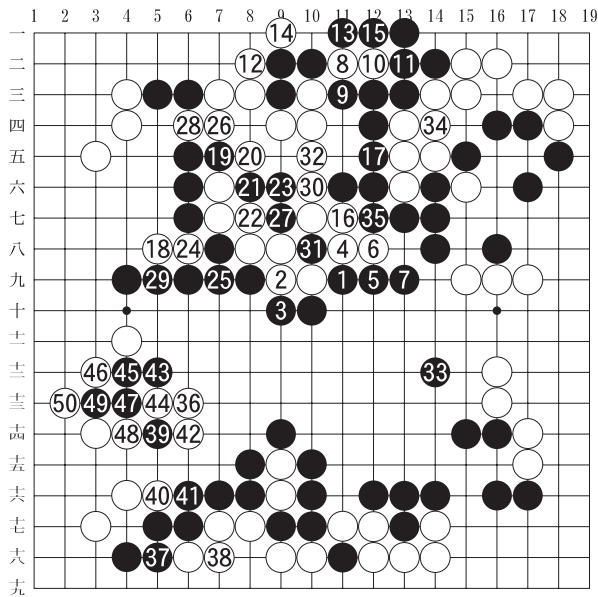
第2譜 1～50（通算51～100）



4以下下辺をはって、8と切った時9と当たったのが失着で、黒22とのびていたら、良い手段はなく白のつぶれであった。対局後上村先生が、指摘されていたが白にツキがあったと思います。相手の失敗は、囲碁では自分の幸運であり、10とのびては、地合は白に大分有利になり優勢を確信していました（この碁がまさか苦戦になるとは？）。優勢になると緩むのが私の悪いところ（直しようがない）です

が。23に打ち込まれ26が強引な打ち過ぎで、上辺の白の一団が浮石になってきた。しかし、50とコスミつけ凌げるとしていました。

第3譜 1～50 (通算101-150)

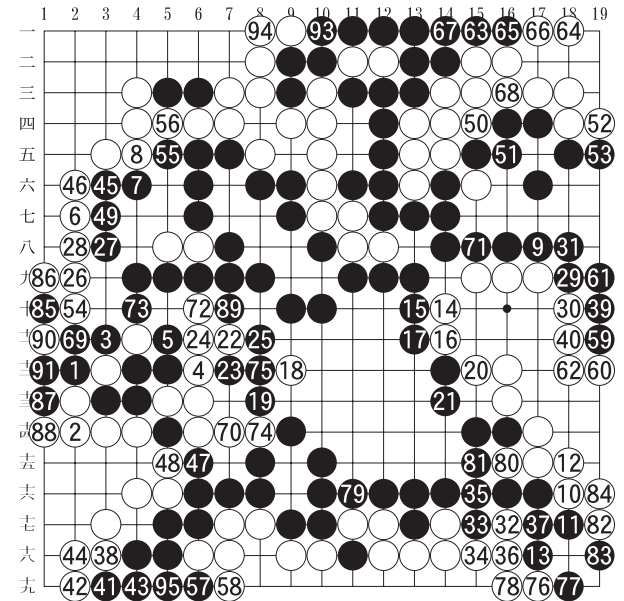


18が大失敗でしっかり生きていくべきです。21、23とキリノビられ、黒をつかまえられず、パニックに陥った。26が利いて28と出て上辺が助かったが、本体は31とすべて取られてしまった。逆転と思ったが、まだ地合は有利と計算でき、ホッとしたのを覚えています。

黒の鋭い追い込みは急で、白は防戦一方かつミスが続く。33とふさがれ、急接近。42も悪手、43に打たれ49と出られ、大損害を喫しました。

第4譜 1～95 (通算151-245) 92は85つく

6から大ヨセに入った。失着は続く。18は、黒19を見損じた失敗で5目損の持ち込みになる。黒は時間がないのに正確に寄せてくる。もうだめかと思って必死に寄せた。何回かの目算の中、38に抑えて何



とかならと思った。最近目算は間違えが多く当てにならないが。

結局、終局では黒盤面4目勝ち、コミにて白2目半勝ちであった。榮作先生のすごい追い込みにより大優勢は消え去り、辛うじて白に幸いした。汗びっしょりの勝利でありました。

榮作先生には前回完敗、今回辛勝と、強い若手が参加され、とても嬉しいことです。最近、大会参加者も減少気味で、今後の大会活性化のインパクトになって欲しいものです。私も引退は考えないで、何年も本会に出席して精進したいと思います。

最後に、今回も三宅会長のもと、全道医家囲碁連盟の皆様には、多くのサポートを頂き、われわれ一同気持ちの良い1日を過ごさせて頂きました。深謝いたします。懇親会には、長瀬道医会長もご出席され選手達とご歓談くださり、誠にありがとうございます。とても励みになりました。

次回も頑張りたいと思います。

優勝記



札幌市医師会
板倉 一正

今まで全道医家囲碁大会には十数回(名人戦を含む)参加しておりますが、優勝の経験はなく、今回本因坊戦での優勝が初めてなので、大変嬉しく思っております。

大会1回戦で実力者の伊藤長英先生と当たり、終始私の劣勢の碁でしたが、寄せの段階で先生に見損

じがあり、逆転勝利を得ました。この勝利が優勝への一番の誘因だと思います。とにかくこの後も幸運に恵まれました。

年々大会参加者が少なくなっておりますが、囲碁はあまりお金もかからないゲームなので、多数の皆様に参加いただき、今後も長く続けられるよう念願しております。

大会を主催された連盟の役員の皆様、大会運営に携わられた道医職員の皆様、本当にありがとうございました。



優勝トロフィー

第37回大会成績表

(敬称略)

【名人戦】

順位	氏名	得点
優勝	樋口 晶文	34
準優勝	樋口 栄作	27
第1位	高橋 成夫	26
第2位	岡村 廉晴	25
第3位	前川 隆	19
第4位	杉目 正尚	18
第5位	滝川 昌俊	17

【本因坊戦】

順位	氏名	得点
優勝	板倉 一正	34
準優勝	三宅 直樹	25
第1位	伊藤 長英	24
第2位	丸山 芳朗	19
第3位	大泉 和夫	18
第4位	鈴木 英軍	16
第5位	上田 晃	15

お知らせ

第45回北海道ドクターズゴルフ大会 開催のお知らせ(予告)

標記大会を、函館市医師会の担当で下記のとおり開催することになりましたので、多くの会員にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

【前夜祭】

日時：平成23年6月25日(土)
午後6時

会場：ホテル函館ロイヤル
(函館市大森町16番9号)
TEL 0138-26-8181

【大会】

日時：平成23年6月26日(日)
午前6時30分スタート(予定)

会場：北海道カントリークラブ
大沼コース
(亀田郡七飯町西大沼)
TEL 0138-67-2211

競技方法：18ホールズストロークプレイ
(アンダーハンディ)
A・B、シニア、レディースの各
クラスを予定しております。

競技資格：北海道医師会員で公式ハンディを
有する者。

参加申込：北海道医報3月号または4月号附
録の「参加申込書」でお申込くだ
さい。

その他：ご不明な点がございましたら、大
会事務局までご連絡願います。

連絡先：〒042-0932

函館市湯川町3丁目38番45号
函館市医師会内
第45回北海道ドクターズ
ゴルフ大会事務局

TEL 0138-36-0001

FAX 0138-36-0007

E-mail

info@hakodate-med.org